

アフリカ子どもの本プロジェクト(JACBOP) 2019 年度活動報告

1、概況

私たち「アフリカ子どもの本プロジェクト」も、結成 16 年目を迎えました。昨年度は、JICA 筑波センター、港区のユニセフハウス、武蔵野市の成蹊小学校、神戸の兵庫県国際交流協会で開催（「アフリカを読む 知る 楽しむ子どもの本展」）を開催していただき、当プロジェクトのことを多くの方々に知っていただくと同時に、アフリカの子どもたちと日本の子どもたちが友だちになるためのきっかけとなる 100 点以上の図書を見ていただく機会を得ました。図書展開催にご尽力下さった方々には厚く御礼申し上げます。

こうした図書展の開催をはじめ、ドリームライブラリー（ケニア西部に設立した二つの子ども図書館）の運営や、おすすめ本（ホームページ africa-kodomo.com の〈おすすめの本〉をごらんください）の選定などについては、毎月定例会を開いてそこで顔を合わせて話し合いながらいろいろなことを決めてきました。

しかし新型コロナウイルスの感染の危険性が高まってからは、2020 年 2 月 23 日に定例の運営会を開いて以降、リアルに集まったの定例会は今のところ開催できていません。かわりに、緊急の相談事がある場合はメール等で運営会常連メンバーが連絡を取りあい、対応しています。この 5 月にもエンザロ村図書館のトイレが壊れたという連絡があり、できるだけ早く対応することが必要になったことからメール会議を開き、緊急支援資金を送りました。

ケニアでも新型コロナウイルス感染の拡大があり、全国的に学校が休校になるなど困難がつづいていますが、今のところ幸いなことにドリームライブラリーは開館を継続しています。しかしこの地域でも、地球規模での気候変動の影響を受け、コロナだけではなく豪雨、暴風、トビバッタの異常発生などにより大きな被害が出ています。その中で、子どもの学びや楽しみの一助を担うだけでなく、大人の方たちにとっても新聞講読を通じた情報の窓口にもなっていることを考えると、今後もできるかぎりドリームライブラリーを支援していきたいと考えています。

また、このドリームライブラリーへの見回りや、ライブラリアンのお給料の支払い、さまざまな連絡などについては、近くに研究フィールドを持っておいでの京都大学の松田素二先生とお仲間のオディンガさんにお問い合わせしてきましたが、諸般の事情から別の方法を探す必要に迫られています。支援方法の模索も、現在は世界規模のコロナウイルス感染拡大により一時的にストップしていますが、継続していきたいと思えます。

全員がボランティアというささやかな活動ですが、今度も見守っていただけますようお願いいたします。

2、会員数

2018 年度末の会員数は 113 名、2019 年度末は 95 名でした。

3、2019 年度活動報告(2019.4-2020.3)

3-1 運営会の開催

毎月 1 回運営会を持ち、アフリカへの支援、選書や図書展、イベント等の打ち合わせを行いました。

3-2 ドリームライブラリー等の支援

1) ケニアのドリームライブラリーについて (写真 1)

ケニア西部のエンザロとシャンダにある二つのドリームライブラリー（子ども図書館）を支えることは、私たちのプロジェクトの三つの柱の一つです。現地にはなかなか行くことができないため、京都大学の松田素二先生にお願いし、研究フィールドに行く折に二つのライブラリーを訪問して、現地の様子や要望を伝えていただいています。昨年の夏も両図書館ライブラリアンからの文具類などの要望には現地で直接対応して

いただきました。先生のお仲間のオディンガさんには連絡係だけでなく、調整係としてもご協力をいただいております。その結果、今年度からライブラリアンの医療保険制度や年金制度への加入も実現しました。みなさんの会費から、毎月ライブラリアンのピーターさん（エンザロ）に 10,000 シリング、今年度から開館日数の増えたシャンダのアイリーンさんに 8,000 シリング、9 月からは医療保険の負担分 500 シリング、12 月からは年金の雇用者負担分 200 シリングをプラスして支払っています。両方の図書館に新聞購読料として 1,860 シリング、そのほか、新聞販売店が近くでないエンザロについては、新聞配達交通費として 1,500 シリングを定期的にお渡ししています。また、ケニアでの連絡・調整や給料の支払いを担当して下さっているオディンガさんには交通費や払込の手数料等として毎月 2,000 シリングをお渡ししています。ライブラリーも 10 年以上が過ぎ、建物の老朽化が見られます。そのため壁塗りの補修などにもオディンガさんが監督として足を運んでくださっており、9 月以降 3000 シリング以上お渡しする月もありました。また、年末にはシャンダのアイリーンさんが男児を出産しました。事前の相談がなく、出産の月にいきなり 3 カ月の産休と代理司書としてアルバイトのサイモン君の紹介があり困惑しましたが、アイリーンさんの給料の 7 割をサイモン君に、3 割は指導役のアイリーンさんに支払うことで合意しました。現在のレートだと 1 シリングが約 1.13 円になります。

2004 年に設立したエンザロ・ドリームライブラリーと 2008 年に設立したシャンダ・ドリームライブラリーは、ともに週に 5 日半開館しています。1 日の開館時間は若干異なります。

またそれぞれの図書館についていろいろな話し合いをするために、地元では折に触れ図書館委員会が開かれています。遠くから通ってくる委員や、仕事を休んで参加する委員もいるので、お茶菓子代として、図書館委員会が開催されるごとに 3,000 シリング（要望により 1,000 シリングアップ）を援助しています。現地からのレポートでは、昨年度中にエンザロ図書館は 4 回、シャンダ図書館も 4 回、図書館委員会が開かれました。

両図書館の建物や備品の修理なども必要ですが、2019 年度は、年度初めに両図書館に教科書や本代として 90,072 シリング、また年度末に電気工事ができることになり、32000 シリングを送金しました。しかしケニアでも新型コロナウイルスによる感染の影響で図書館委員会を開催できず、電気工事を進めることができない状況でした。エンザロの電気工事が完成した 4 月以降は、電気のついた図書館が少し開館時間を延長して開かれているとのことです。

2019 年のドリームライブラリーの利用状況は以下のとおりです。

エンザロ・ドリームライブラリー 報告者：ピーター・インブーカ

利用者別人数 (単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	323	346	470	438	394	375	910	297	372	475	0	213	4613
プライマリー 生徒	305	518	370	516	416	413	523	355	405	408	0	196	4425
セカンダリー 生徒	203	160	242	426	304	304	412	285	357	272	0	135	3100
おとな	376	476	181	556	548	442	914	424	455	265	0	339	4976
合計	1207	1500	1263	1936	1662	1534	2759	1361	1589	1420		883	17114
開館日数 (単位：日)	21	26	25	29	27	26	26	27	26	26		23	282

※11月の統計は調査中。

蔵書冊数 (2019. 12. 31)

単位：冊

前年蔵書数	2330
増加冊数	66
	2396

シャンダ・ドリームライブラリー 報告者：アイリーン・ナムニユ

利用者別人数 (単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	110	51	60	122	201	253	321	279	62	62	42	47	1610
プライマリー 生徒	822	809	902	1203	1761	1920	2022	355	1920	1920	1402	1340	16376
セカンダリー 生徒	56	106	100	206	302	201	51	285	44	44	124	155	1674
おとな	15	28	16	33	75	71	62	424	60	60	54	17	915
合計	1003	994	1078	1564	2339	2445	2456	1343	2086	2086	1622	1559	20575
開館日数 (単位：日)	18	17	16	24	30	21	22	26	26	26	27	25	278

※蔵書冊数は調査中。なお、2018.12.31 の冊数は1792冊でした。

2) その他の支援

・セネガルの団体から図書館を作りたいののだが支援をお願いできないかという問い合わせがありましたが、アフリカの国々からの依頼に対し、子どもの本を寄贈する活動はしているが、図書館を建設する支援はできない旨の返事を出しました。

3-3 アフリカのことを知らせる活動

当プロジェクトが選ぶアフリカについてのおすすめ児童書を集めた「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」は、本年度4箇所で開催していただくことができました。

①JICA 筑波 (写真2)

会期：2019年4月15日(月)～20日(土)

会場：JICA 筑波センター 3階会議室

施設内の図書室の司書松田さんが中心になって、センター所蔵の小物や布なども使って、楽しい展示になっていました。20日はセンターのオープンデーで、近隣から親子連れなども集まり、11時半と3時の2回、アフリカ出身の研修生による、『ハンダのびっくりプレゼント』『ハンダのめんどりさがし』のバイリンガルの読み聞かせもあり、おおぜいの子どもたちが聞いていました。

施設内に、エンザロ村のかまどと同じ、かまどの模型がありました。

これを機に、希望をとっていただき、『エンザロ村のかまど』の英語版、スワヒリ語版をアフリカからの研修生のみなさんにプレゼントすることができました。

②日本ユニセフ協会 (写真3)

会期：2019年6月14日～9月6日(金)

会場：ユニセフハウス(東京都品川区高輪)ロビー

「アフリカの子どもたちの物語」と題して展示されました。

7月11日には『風をつかまえたウィリアム』(さくまゆみこ訳、さ・え・ら書房)を基にした映画『風をつかまえた少年』の試写会が同会場であり、マラウィ出身の著者ウィリアム・カムクワンバさんが奥様とともに来日し、さくま会長と会員数名をご招待いただきました。

③成蹊小学校 (写真4)

会期：2019年11月11日～12月13日(金)

会場：成蹊小学校図書室(東京都武蔵野市)

図書館だよりを送っていただき、子どもたちが熱心に見てくれているとのことでした。

④公益財団法人兵庫県国際交流協会（写真5）

会期：2020年2月3日（月）～2月21日（金）

会場：ひょうご国際プラザ交流ギャラリー（神戸市中央区）

3-4 「アフリカに関する児童書 おすすめリスト」の選書

・ホームページの「おすすめの本」コーナー、「おすすめの本リストPDF」には、2019年6月までに選んだ本が入っています。

・今後もホームページの「おすすめの本」コーナーに、新しい推薦本の書誌を追加する作業を進めます。

・SDGsの視点で「おすすめ本」を分類して、マークをつけたリストを作成し、学校図書館などで活用してもらいやすいようにします。

・「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」の展示本は、新しい本を中心に120冊程度に調整していますが、ホームページにはこれまで選んだ推薦本全点を掲載しています。

*これからの図書展に向けて、岩波書店、花伝社、講談社、小峰書店、さ・え・ら書房、西村書店、毎日新聞社の各社（50音順）より、展示用図書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

*新規にリストに入れた6冊の解題を分担して執筆しました。

*2019年度、選書会は5回開催。

16冊を検討し、6冊をおすすめリストに入れることにしました。

2回3回と検討を重ね、やっと判断が決まるという本が増えています。アフリカを舞台にした本、アフリカを紹介する本で、一見良さそうに見えるのですが、内容を精査してみると薦められないということが多々ありました。昨年刊行された中でも、まだ検討が続いている本があります。定例会に参加できない方も、ぜひプロジェクトニュースを見て、検討本についてメールなどでご意見をください。

2019年

6月 7冊検討（うち1冊は継続本）2冊をリストに入れる。

・『キバラカと魔法の馬～アフリカのふしぎばなし』さくまゆみこ編訳 太田大八挿絵 岩波少年文庫 2019.03

・『ノウサギのムトゥラ～南部アフリカのむかしばなし』ビヴァリー・ナイドゥー作 ピート・フロブラー挿絵 さくまゆみこ訳 岩波書店 2019.03

7月 3冊検討（うち3冊は継続本）1冊をリストに入れる。

・『ちいさなハンター（シリーズ どうぶつのかぞく）』佐藤まどか作 あべ弘士絵 講談社 2019.04

9月 2点検討。（うち1冊は継続本）

10月 2冊検討。（うち1冊は継続本）1冊をリストに入れる。

・『ポリぶくろ、1まい、すてた』ミランダ・ポール文 エリザベス・ズーノン絵 藤田千枝訳 さ・え・ら書房 2019.02

11月 3冊検討。2冊をリストに入れる。

・『世界の文化と衣食住 アフリカ』鈴木佑司監修 小峰書店 2019.04

・『なかよしの水～タンザニアのおはなし』ジョン・キラカ著 さくまゆみこ訳 西村書店 2019.09

3-5 支援グッズの製作・販売（写真）

絵はがき（5枚セット）、トートバッグ、マスキングテープ、Tシャツ、『エンザロ村のかまど』スワヒリ語版、英語版等を、4月のJICA筑波の展示に合わせて、つくば市内の児童書店「えほんやなずな」で販売していただきました。

会員のみなさまも、年会費の納入の際、ぜひグッズもご購入いただき、ご支援ください。

3-6 ホームページの更新

ホームページ <http://africa-kodomo.com/>では、ブログページで定例会の様子や日常のご報告を、お知らせページで展示や会員関連の講演情報などもお伝えしますのでご覧ください。

他にインターネットでは、メールによるプロジェクト・ニュース配信と、フェイスブック (<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>)、インスタグラム (https://www.instagram.com/africa_kodomo/)を利用して情報発信を実施しています。

フェイスブックページでは、2019年4月20日現在、「いいね！」をクリックして下さった方は412名、Instagramでは132名のフォロワーがいます。ホームページとのリンクを含め、今後も内容を充実していきます。

3-7 「プロジェクト・ニュース JACBOP NEWS」の発信

電子メールを使って、運営会の報告、新会員の紹介、ケニアのドリームライブラリーの様子その他を会員向けに随時発信しました。

4、2019年度決算報告(2019.4.1～2020.3.31)

(会員のみ公開)

5、2020年度予算(2020.4.1～2021.3.31)

(会員のみ公開)

連絡先

アフリカ子どもの本プロジェクト

〒177-0042 東京都練馬区下石神井1-4-4 さくま方

メールアドレス：amai_3@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://africa-kodomo.com>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>

インスタグラム：https://www.instagram.com/africa_kodomo/